

# いぐさ農家の一年（栽培と製織）

11月			12月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下



## 1 育苗・苗掘り

12月に畑（苗床）に植付けた苗を8月に掘り出し水田苗床へ植付け、苗を育てます。それを**11月中旬**に掘り出し、本田へ植え付けるための調整（株分けや根切り）などを行います。



## 2 植え付け

**11月下旬**から植え付けが始まります。調整した苗を移植機等で本田へ植え付けます。



## 3 先刈り

根元までしっかり日光を届けるために、**5月上旬頃**、いぐさの先端を刈り払い、新芽の発芽を促します。収穫の45日前頃に出る芽が長くて質の良いいぐさになるため、このような作業を行います。



## 4 網張り

いぐさは150cm以上に成長するので、倒伏防止のために水田全体に網を張ります。網の間から先端をだし、折れ曲がることなく、すくすく成長します。



## 5 収穫

**6月下旬から7月中旬**にかけて刈り取ります。いぐさの鮮度を保つため、刈り取りは気温の低い早朝や夕方に行います。



## 6 泥染め・乾燥

刈り取ったいぐさは、畳独特の色や香り、光沢を出すために、天然染土を使って泥染めをします。泥染めをすることで表面をコーティングし、均一に乾燥させることが出来ます。その後、乾燥機で乾燥させます。



## 7 製織

泥染め、乾燥したいぐさを、長さごとに選別して、畳表に織り上げます。この作業は一年かけて各農家で行われます。いぐさ農家は、栽培から畳表の製織までを一貫して行っています。



## 8 仕上げ

織り上げた畳表は、一枚一枚、手作業で傷が無いか等をチェックして仕上げます。



## 9 検査・出荷

仕上げが終わった畳表は、厳しい検査を受けます。検査に合格した畳表は製品のランクごとに分けられ、全国に出荷されます。

写真提供：熊本県八代市

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/igusa\\_tatami-omote.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/igusa_tatami-omote.html)